史
歴史

むらからくにへ

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ

くらしは
どう変わる？



こたえ

- 1: 縄文時代―狩りや漁、木の実の採集をしてくらした　弥生時代―米づくりが広まり、むらどうしが争った　古墳時代―大王や豪族の大きな墓がつくられた
- 2: (1) 縄文土器　(2) 高床倉庫　(3) 卑弥呼
- 3: イ → ア → ウ（狩りや漁をして、たて穴住居でくらす → 米づくりが広まり、むらができる → 大和朝廷（大和政権）が国を統一していく）

みてあげる ところ

- 縄文時代は狩りや漁・採集のくらし、弥生時代は米づくりが広まり、むらどうしの争いが起きました。古墳時代には大王や豪族の大きな墓（古墳）がつくられ、大和朝廷（大和政権）が国を統一していきました。

書体: Klee One（SIL Open Font License）